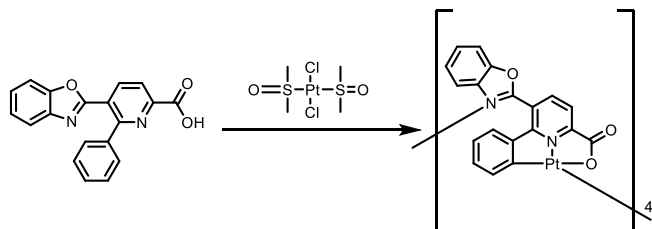


当研究室では、ピリジン環の 3 位に 2-ピリジル基、2,6 位にフェニル基とカルボキシ基を有するビピリジル配位子を用いて白金と錯形成を行うことにより、配位子 3 個と白金 3 個から構成される三核錯体を単段階で合成することに成功している。そこで私は、3 位に 2-ベンゾオキサゾリル基を導入して配位角を制御することにより四核錯体の合成を検討した。

銅触媒の共存下、3-シアノピリジンに *o*-アミノフェノールを作用させることにより ¹⁾、ベンゾオキサゾール環が置換したピリジンを 17%の収率で得た。本反応では、銅を化学量論量添加することが効果的であり、収率を 69%まで向上させた。さらに、生成物のメチル基を過マンガン酸カリウムで酸化することにより配位子を合成した。

こうして得られた配位子を用いて白金錯体の合成についても検討を行った。



文献 1) H. Tan, C. Pan, Y. Xu, H. Wang, Y. Pan

J. Chem Res. **2012**, 36, 370–373.